

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2024年5月分)

2024年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 目次(以下は主なトピックを抜粋)

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

●[地方選挙の公示\(8日\)](#)

#### (2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[BH憲法裁判所連邦選出裁判官の任命\(29日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[スレブレニツァの虐殺に係る国連総会決議を受けた反応\(22日\)](#)

●[外国エージェント法の取り下げ\(29日\)](#)

### 2. 外政

#### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[クリシュト閣僚評議会議長のEU西バルカン・サミット出席\(16日\)](#)

#### (2) 二国間関係

●[ベチロビッチBH大統領評議会議長の訪独\(6日～7日\)](#)

#### (3) 日・BH関係

●[令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「コザルスカ・ドゥビツァ市コズマ・ダミャン診療所救急車及び医療機材整備計画」引渡式の実施\(14日\)](#)

●[洪水発生から10周年目の防災訓練開催に際するマグライ市訪問\(14日\)](#)

●[令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「スタナリ市診療所救急車整備計画」引渡式の実施\(15日\)](#)

### 3. 経済

#### (1) 経済指標(出典: BH統計局)

#### (2) 経済政策・公共事業

#### (3) 経済協力

#### (4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ●地方選挙の公示(8日)

8日、BH中央選挙管理委員会(CEC)は、統一地方選挙日程を公示した。投票日は2024年10月6日(日)、選挙対象となるのは31の市議会(BH連邦:21、RS:10)、111の自治体議会(BH連邦:58、RS:53)、32の市長(ブルチュコ特別区長含む)及び111の自治体首長。

### (2) エンティティ、特別区

#### ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●BH憲法裁判所連邦選出裁判官の任命(29日)

29日、BH連邦下院において、2022年11月に退職したBH憲法裁判所裁判官の後任となるマリン・ブコヤ氏(クロアチア系)の任命が承認された。BH憲法裁判所の裁判官はBH連邦選出の4名、RS選出の2名及び外国人3名で構成されているが、BH連邦選出裁判官1名及びRS選出2名の退職後に後任が任命されず、空席が続いていた。今回のブコヤ氏の任命により、裁判官数は7名となった。

#### イ スルプスカ共和国(RS)

#### ●ヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼式典(12日)

12日、RS北部のクロアチア国境に位置するドーニャ・グラディナのヤセノバツ強制収容所跡において犠牲者の追悼行事が開かれ、ドディックRS大統領、ツビヤノビッチBH大統領評議会セルビア系メンバー、ビシュコビッチRS首相、ステバンディッチRS国民議会議長、他、周辺国よりブチェビッチ・セルビア首相、マンディッチ・モンテネグロ議会議長等が出席。

本年の行事においてはスレブレニツァの虐殺に係る国連総会決議が強く批判され、収容

所におけるセルビア民族の被害が強調された。

#### ●スレブレニツァの虐殺に係る国連総会決議を受けた反応(22日)

国連総会でのスレブレニツァの虐殺に係る決議の採択を受け、RS政府は閣議において「平和的關係解消合意」を30日以内にBH連邦に提案する旨決定。ドディックRS大統領は、「各エンティティの持つ政治的権能を明確にし、経済機能については現在のモデルを残しつつ、数年以内にそれを平和的境界設定モデルに適応させることを提案する」と述べた。

#### ●外国エージェント法の取り下げ(29日)

29日、RS国民議会は所謂「外国エージェント法」の採択を取り下げた。同法は国から資金を得ているNGOを「外国エージェント」とし、RS政府に対する収支の報告を義務付けるものであり、市民の自由な活動に対する圧力であるとして米欧より強い懸念が表明されてきた。同法案は第一読会での可決後、本年3月、公聴会の結果として改正法案が再度採択され、更に5月22日のRS国民議会でアジェンダに掲載され、その本採択が予想されていたが、審議未了になっていた。EUは本件取り下げを前向きなものとして評価。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●クリシュト閣僚評議会議長のEU西バルカン・サミット出席(16日)

16日、クリシュトBH閣僚評議会議長はモンテネグロのコトルで開かれたEU西バルカン・サミットに出席した。クリシュト議長はこれまでのBHの改革の進展と、直近に「西バルカン成長計画」に基づく改革アジェンダを欧州委員会に公式に提出したことを紹介した上で、国内

の合意によりEU加盟という共通の外交目標を達成していく意志を確認した。また、次回9月のEU西バルカン・サミットをBHがホストすることを発表した。

#### ●ヘレズ国防大臣のNATO訪問(21日～24日)

5月21日～24日、ヘレズ国防大臣は、ブリュッセルのNATO本部及びモンス(ベルギー)のNATO欧州連合軍最高司令部(SHAPE)を訪問し、ジョアナNATO事務次長、北大西洋理事会(NAC)メンバー等のNATO高官と会談。BHの政情・安全保障環境は悪化していると述べ、ロシア等の外部の脅威を牽制するため、BHへのNATO基地の設置、NATOサラエボ本部の強化、対戦車・対空装備の配備等BH防衛システムの強化を要請した。

#### (2)二国間関係

#### ●ベチロビッチBH大統領評議会議長の訪独(6日～7日)

6日～7日、ベチロビッチBH大統領評議会議長はドイツを訪問し、シュタインマイヤー大統領及びショルツ首相と会談した。ベチロビッチ議長はBHのEU及びNATO加盟の重要性を改めて指摘し、スレブレニツァの虐殺追悼の日(7月11日)の制定の必要性を強調した。ショルツ首相もBHのEU・NATO加盟及びシュミット上級代表の職務への強い支持を表明。

これを受け、ドディックRS大統領はドイツ人であるシュミット上級代表の正当性を重ねて否定しつつ、ベチロビッチ議長によるBHのNATO加盟への言及はBH国家全体の一致した姿勢ではないと反発した。

#### (3)日・BH関係

#### ●令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「コザルスカ・ドウビツァ市コズマ・ダミャン診療所救急車及び医療機材整備計画」引渡式の実施(14日)

14日、杵瀨駐BH日本国大使は令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「コザルスカ・ドウビツァ市コズマ・ダミャン診療所救急車及び医療機材整備計画」の引渡式に出席した。今回の支援では、日本政府が同診療所に対し救急車及び医療機材の整備のため65,214ユーロ(約830万円)を供与。重篤患者の第二次医療施設への適時適切な搬送が可能になる他、眼科診療用の機材供与により新たに眼科診療サービスが開始され、年間約8,000人の患者に裨益する。



(写真: 引渡式の様子)

●洪水発生から10周年目の防災訓練開催に際するマグライ市訪問(14日)

14日、杵瀨駐BH日本国大使は、2014年5月にBH中部・北部で発生した大洪水からの復興を祝し、またマグライ市が開催した防災訓練の開催に合わせて同市を訪問し、マフムダギッチ・マグライ市長と懇談した。日本政府は大洪水発生に際して総額約1,000万ドルの支援を行い、そのうちの2案件(草の根無償資金協力事業による医療機材供与、及び国際機関を通じた地滑りリスク管理のための技術協力)はマグライ市で実施されたことから、市長からは謝意の表明とともに、10年間の同市の復興及びインフラ整備への取り組みの説明があり、自然災害を多く経験する日本からの技術支援の期待が表明された。



(写真:懇談の様子)

●令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「スタナリ市診療所救急車整備計画」引渡式の実施(15日)

15日、杵瀨駐BH日本国大使は令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「スタナリ市診療所救急車整備計画」の引渡式に出席した。スタナリ市は探鉱採掘や火力発電所を有しており、緊急搬送のニーズも高いことから、日本政府救急車及び救急車に搭載する搬送用ストレッチャー、脊椎固定具、AED等の機材整備のため71,586ユーロ(約1,000万円)を供与した。



(写真:引渡式の様子)

### 3. 経済

#### (1) 経済指標(出典: BH統計局)

##### ●産業生産指数

2024年4月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比1.7%のプラス。また、昨年同月比3.6%のマイナス。

##### ●雇用／失業率

2024年3月の失業者登録数は33万5386(うち女性19万7,208人)で、前月比で0.9%マイナス、前年同月比で5%マイナス。

##### ●平均給与

2024年3月の平均給与(手取り)は1,353 KMで、前年同月比で7.4%のプラス。

##### ●消費者物価指数

2024年4月の消費者物価指数は前月比で0.1%のプラス。また、前年同月比で平均2.0%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.2%のプラス。

##### ●貿易収支

2024年1月～4月のBHからの輸出総額は53.2億KM(前年同期比8.3%減)、BHへの輸入総額は92.91億KM(前年同期比5.6%増)。貿易収支は39.71億KMの赤字。

#### (2) 経済政策・公共事業

##### ●ロパレにおけるリチウム鉱床開発: RS国民議会での地元自治体主導の開発反対決議案否決(23日)

23日、RS国民議会は、ロパレ(BH東部)でのリチウム・ホウ素、ナトリウム、ストロンチウム、カリウム等の鉱床開発に禁止する宣言案を否決した。なお、ロパレ市周辺だけでもリチウムの埋蔵量は約5,600万トンと推測されており、セルビア西部(BH国境付近)における英豪企業リオ・ティント社のリチウム採掘が地元住民の反対で一時停止となったのち、欧州企業の関心はロパレ市近辺に移行。同市市

長を中心に地元住民が反対署名を集め、RS野党議員を中心にRS国民議会で鉱床開発に禁止する宣言案の採択が目指されていたが、今次、同宣言が否決された。RS政府はスイス企業「アルコア」社に同地域での採掘許可を与えることを目指しているとされる。

#### (3) 経済協力

##### ●サラエボ新型路面電車運行記念式典の開催(8日)

8日、サラエボ・カントン交通省の主催により、EBRD及びEIBからの借り入れ資金により調達されたスイス・シュタッドラー社製の新型路面電車の運行記念式典が開催された。同式典にはフォルトBH通信・運輸大臣及びニクシッチBH連邦首相等が参加。本件路面電車は本年3月に15編成が40年振りに導入された。

#### (4) 民間セクター

##### ●第13回サラエボ・ビジネスフォーラムの開催(22日～23日)

22日～23日、ボスニア国際銀行(BBI)及びドバイ・イスラーム銀行(DIB)の共催により、第13回サラエボ・ビジネスフォーラムが開催された。BHからはコナコビッチ外相及びニクシッチBH連邦首相が出席したほか、諸外国からはカシル・トルコ産業技術大臣が出席。各パネルにおいては、従来強調されてきた西バルカンの地域協力に加え、鉄道等のインフラ整備、グリーン移行といった多岐にわたるトピックが議論された。